

第47回東北地区サッカースポーツ少年団交流大会
兼第38回東北ブロックスポーツ少年団サッカー交流大会
開 催 要 項

- 1 趣 旨 東北各県のサッカースポーツ少年団が一同に会して、日頃の活動成果を発揮し、団員の体力と技術の向上を図るとともに、スポーツ少年団の交歓、交流を行う。なお、この大会は公益財団法人スポーツ安全協会の助成を受けて開催するものです。
- 2 主 催 公益財団法人日本体育協会日本スポーツ少年団 一般社団法人東北サッカー協会 東北ブロックスポーツ少年団連絡協議会 公益財団法人山形県体育協会・山形県スポーツ少年団
- 3 後 援 山形県教育委員会
- 4 協 賛 (株)モルテン (株)メモリーアート (株)大塚製薬
- 5 主 管 NPO 法人山形県サッカー協会
- 6 期 日 平成30年7月15日(日)～16日(月)
- 7 会 場 山形県総合運動公園サッカー場
- 8 参加資格 (1) 大会実施年度に公益財団法人日本サッカー協会第4種及び日本スポーツ少年団に加盟登録した団体(チーム)であること。
(2) 上記団体(チーム)に所属する選手であり、日本サッカー協会発行の登録選手証(カードの選手証または電子選手証)を有するもの、ただし、写真添付により、顔の認識ができるものであること。
※電子選手証とは、日本サッカー協会WEB登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・大会申込書を印刷したもの、またはスマートフォンやPC等の画面に表示したものを示す。
(3) 参加チームは必ずスポーツ安全保険に加入すること。
- 9 参加チーム及びその数
 - (1) 各県2チームの合計12チームとする。
 - (2) チーム構成は、選手16名以内、引率指導者3名以内とする。
ベンチ入り、並びに参加申込数も同様とする。
 - (3) 引率指導者は、当該チームを指導掌握する責任ある指導者であり、内1名は以上は公益財団法人日本サッカー協会公認コーチ資格(D級以上)及び内1名はスポーツ少年団の指導資格(認定員又は認定指導員)を有すること。
 - (4) 参加資格は健康であり、且つ保護者の同意を得ること。
 - (5) 参加チームは単位スポーツ少年団として、登録された名称を用いること。

- 10 競技方法
- (1) 12チームを4グループに分け1次ラウンド（1グループ3チームのリーグ戦）を行い、さらに各グループ順位ごとによる2次ラウンド（決勝・順位トーナメント）を行う。
 - (2) 1次ラウンドの順位決定の方法は、勝3点、分1点、敗0点の勝点により、勝点の多い順に決定する。なお、勝点の合計が同一の場合は以下の項目に従い順位を決定する。
 - ① 全試合の得失点差（総得点－総失点）
 - ② 全試合の総得点
 - ③ 当該チーム同士の対戦成績（勝敗）
 - ④ ①～③の全項目において同一の場合は、当該チーム同士によるPK方式（3名）により決定する。
 - (3) 試合時間は40分（20分ハーフ）とし、ハーフタイムのインターバルは5分とする。規定の競技時間に勝敗が決しない場合は、1次ラウンドにおいては引き分けとする。2次ラウンドにおいてはPK方式により次回戦への進出チームを決定する。ただし、優勝決定戦は10分（5分ハーフ）の延長戦を行い、勝敗が決しない場合はPK方式により優勝チームを決定する。なお、延長戦に入る前のインターバルは5分、PK方式に入るまでのインターバルは1分とする。
- 11 競技規定
- 大会実施年度の公益財団法人日本サッカー協会競技規則による。但し、以下の項目については特に本大会用として規則を定める。
- 公益財団法人日本サッカー協会「8人制サッカー規則の審判法」の「8人制サッカールール」による。但し、本要項に定められている事項が優先される。
- (1) 交代要員は、自由な交代を適用する（一度退いた競技者も再び出場でき、何回でも交代可能とする）。
 - (2) 本大会において退場を命じられた競技者は、次の1試合に出場できず、これ以降の処置については本大会規律・フェアプレー委員会で決定する。
 - (3) 本大会において警告を2回受けた競技者は、次の1試合に出場できない。なお、1次ラウンドにおける警告は、2次ラウンドに持ち越さないとする。但し、1次ラウンドにおける出場停止処分が未消化の場合は、2次ラウンドに持ち越して処分を適用する。
 - (4) ベンチに入ることができる人数は、選手16名以内、指導者3名以内とする。
 - (5) テクニカルエリアを設置する。戦術的指示は、テクニカルエリア内からその都度1名の指導者に限り伝えることができる。
 - (6) 審判は1人制審判を採用し、補助審判を置く。補助審判は参加チームの帯同で行う。

- 12 ユニフォーム (1) ユニフォームは参加申込時に登録したユニフォームを着用すること。ただし、チームのユニフォーム（GKのユニフォームを含む）のうちシャツの色彩は、審判員が通常着用する黒色と明確に判別し得るものでなければならない。また、チームは試合会場に正・副2組のユニフォームを持参しなければならない。プレーヤーとゴールキーパーの両方を経験する重要性に鑑み、主催者の指示があるときは指定のシャツまたはビブスを着用しなければならない。
- (2) 1次ラウンドにおいては、相手チームと色彩が重複しないように、主催者が事前にユニフォームの色を指定する。順位決定後、同様に指定するので、チーム代表者が本部で確認してから宿舎に移動すること。
- (3) 大会期間中、選手の背番号の変更は認めない。
- (4) ユニフォームへの広告表示は、公益財団法人日本サッカー協会「ユニフォーム規定」に基づき、平成30年7月2日までに承認された場合これを認める。
- (5) その他の事項については、公益財団法人日本サッカー協会「ユニフォーム規定」に則る。
- 13 組合せ 大会事務局が、各県の成績を参考に1次ラウンドの組合せを作成する。
- 14 監督会議 日時：平成30年7月15日（日） 9:00～
会場：山形県総合運動公園サッカー場（管理棟）
- 15 表彰 優勝・準優勝・第3位の各チームに、賞状・トロフィー・メダル（16名）を授与する。
第4位チームに、賞状・トロフィーを授与する。
本大会上位2チームは、12月に開催される「清水市長杯・清水チャンピオンズカップ少年サッカー大会」に東北代表として出場権を与える。
- 16 参加申込 申込書は1部作成し、各県スポーツ少年団へ申し込むこと。
各県スポーツ少年団は6月25日（月）（必着）までにそれぞれ申し込むこと。
申込先
①【申込書原本：郵送】
公益財団法人山形県体育協会山形県スポーツ少年団
〒990-2412 山形市松山二丁目11-30
*平成30年度スポーツ少年団Web登録帳票を必ず添付のこと。
②【プログラム作成用：メール送信】
NPO山形県サッカー協会 4種委員会 事務局 吉田 浩昭（090-7063-0938）
E-mail：yoshida1962930@yahoo.co.jp
*プログラム用にチームの集合写真を1枚添付のこと。
- 17 参加料 1チーム10,000円 監督会議時に持参。

- 18 宿 泊 (1) 参加チームは、別添宿泊申込書に記載されている宛先まで必要事項をもらえなく記入の上申し込むこと。
(2) 参加チームは、大会本部が斡旋した宿泊先に宿泊のこと。
(3) 宿泊に関する問合せ先 八千代交通(株)八千代トラベル 黒川 (023-654-5511)
- 19 昼 食 参加チームは、別添宿泊申込書に記入すること。
- 20 開・閉会式及び交流会
開会式：平成 30 年 7 月 15 日 (日) 9:30～ 山形県総合運動公園サッカー場
交流会：実施しない。
閉会式：平成 30 年 7 月 16 日 (月) 15:00～ 山形県総合運動公園サッカー場
選手は、ユニフォーム着用のうえ、団旗を持って集合すること。
- 21 負傷等に対するの応急処置と災害発生に対する処置について
(1) 大会期間中の怪我等については、大会本部で応急手当をするが、その後近隣の救急病院を紹介、
(2) 暑い時期の大会のため、熱中症対策に十分気を配ること。
(3) 災害が発生した場合は、会場の災害対応マニュアルに従い非難すること。
- 22 その他 (1) 大会規定に、違反・その他の不都合な行為のあった時は、そのチームの出場を停止する。
(2) 本大会要項に記載されていない事項については、大会実行委員会において協議の上決定する。
(3) アップ会場は、監督会議時に連絡します。
(4) 前日練習については、後日連絡いたします。